



CHRONICLE

理系卒業生が語る

軌跡とその先のストーリー

クロニクル



EPISODE 01

HISTORY

刺さった言葉「やればできる」

高校ではバスケットボールに熱中し、公立高校のチームでは珍しいと思います。高校総体でベスト32に入ったことがあります。勉強は苦手でしたが、2年生最後の試合が終わった瞬間、「勉強しよう」と思いました。そこから頑張り、満点が取れるようになって。内申点重視の指定校推薦の方が有利と思い、理系志望だったので甲南大学工学部を選びました。

大学ではオンラインゲームに夢中になり過ぎて1年生時の取得単位が少なかった。物理の先生が課外に設けていた「学修相談室」を訪ねました。その時、先生にかけていただいた言葉が「君はやればできる人だよ」です。しばらく通い、先生から丁寧に教えていただき、物理の問題が解けるようになりました。卒業できたのは、その先生のおかげと思うほどです。

HDDヘッドを改良する

取得単位の少なさが響き、4年生までフルで授業を取るようになりました。授業と並行して就活するよりも、しっかり勉強すると決め、大学院進学を選びました。

大学院では、買い込んだ冷凍食品を研究室に持ち込み、時間を忘れて実験を続けました。HDD（ハードディスクドライブ）の書き込み用ヘッドに使われる物質の研究で、物質を混ぜたりこねたりし、焼成条件などによる容量の変化などを調べました。

やりたいことをやって後悔せず

人生を切り開く

コミュニケーション力

TDK株式会社

濱田 康平さん KOHEI HAMADA
TDK株式会社 アプライドフィルム部 開発技術2課2係
自然科学研究科 物理学専攻 2022年3月修了
理工学部物理学科 2020年3月卒業

FUTURE

就活では、エントリーシート（ES）作成や面接が苦手で、なかなか内定をもらえず、キャリアセンターのドアをたたきました。受けた面接の反省点を書き出し、ES作成のアドバイスももらい、直後に受けたTDKから内定をいただきました。

ゲームにも必要な力

大学初めの頃まではオンラインゲームばかりしていましたが、後悔はしていません。5人チームの対戦型ゲームの大会で優勝する目標がありましたから。チームなのでゲーム中に作戦を立てたり、誰かが失敗してもけんかにならないよう、言葉を選んで考えを伝えたりするコミュニケーション力が必要です。準優勝が最高でしたが、当時の仲間が全国にいて、今もSNSなどで付き合いがあります。

受験生や在校生に伝えたいのは、コミュニケーション力は絶対に身に付けた方がいいということです。これは仕事でも大事です。相手に自分の考えをしっかりと伝えることができないと、行き違いが起こることもあります。

僕は学区の関係で中学から同じ高校に行った人がいなかったの、高校の全員を友達にしようと思いました。大学でも友達をたくさん作るため、大勢に話しかけました。コミュニケーション力を鍛え、大学で学修相談室やキャリアセンターを訪ねて話しかけたことが、今につながっています。



仕事内容を教えてください

職場の三隈川工場（大分県日田市）では、透明で導電性のあるフィルムを製造しています。このフィルムに液晶材料を挟むと、通電により一瞬で透明、不透明が切り替わる性質があり、車のサンルーフや建物のガラスなどに使われます。僕はプロセス条件を変えることでフィルムの機能を向上させる設計開発に携わっています。

仕事でもコミュニケーション力を？

職場で最初に上司に命じられたのが、3カ月の製造実習をする間に工場の人に顔と名前を覚えてもらいなさい、ということでした。「毎日、大声であいさつしよう」と決めて実行しました。後で聞くと、50メートルも先の人が「瀧

田が来た」と気づき、「声が大き過ぎてうるさい」と思っていたそうです。今はその人とも仲良しです。

今後のキャリアについて

実験における判断や考え方で、今は壁を感じることもあります。先輩方の助言を得ながら乗り越えています。いずれは一人で解決できるようにになりたいと思います。

日田市での生活はいかがですか？

生活必需品はそろっているので困ることはなく、楽しいです。所属部署に関係なく友達ができましたし、時々、一緒に博多まで飲みに行くこともあります。



EPISODE

02

HISTORY

小学校では「魚博士」

小学生の頃から生き物の中でも特に魚が大好きで、父と一緒に釣りに行ったり、地元の川で魚を捕まえて遊んだりしながら育ちました。次第に魚の生態にも興味が広がり、「水族館の飼育員になりたい」と思うようになって、日本中の水族館を巡ったこともあります。

家には魚の図鑑が並び、夏休みの自由研究では地元の川の魚の生態調査や、養殖魚と天然魚の違いのまとめに取り組みました。学校では「魚のことなら茂木君」と言われるほどでした。

高校では迷わず理系を選択し、甲南大学理工学部生物学科への進学も、幼い頃からの興味がそのままつながった結果だと感じています。

未知の世界へのワクワク感

大学で特に印象に残っているのは、3年生の実習です。生物学科には9つの研究室があり、1年間を通して順番に各研究室が実習を担当します。テーマに沿った実験をグループで行い、最後に結果をまとめて発表する形式で、植物・昆虫・微生物など多様な分野に触れることができ、先生や先輩との距離も近づく充実した学びの場でした。4年生では、その中から微細藻類を扱う研究室に所属しました。脂肪酸の一つであるDHAを多く含む微細藻類「ラビリンチュラ」を対象に研究を進めました。青魚に豊富なことで知られるDHAですが、魚自身はDHAを合成できないため、ラビリンチュラが魚のDHAの供給源として重要なのではないかと考えられています。研究では、ラビリンチュラ

商品開発から総務まで

3年生実習の経験が大きな力に

植田製油株式会社

茂木 大地さん TAICHI MOGI
植田製油株式会社 総務部総務課
理工学部生物学科 2019年3月卒業

FUTURE

がDHAを蓄える仕組みや、生態系の中で果たす役割について研究しました。顕微鏡をのぞきながらラビリンチュラを観察している時、「いま見ているものは、まだ誰も知らないことかもしれない」と感じワクワクしたことをよく覚えています。

学会発表の機会もいただき、指導教員からは大学院への進学を勧められましたが、企業で研究に携わる道にも魅力を感じ、就職活動を行いました。その結果、食用油の老舗企業である植田製油株式会社から研究開発職として内定をいただき、就職を選びました。DHAオイルや魚油も扱う企業でもあり、不思議な縁を感じています。

入社も就活も視野を広げて

今後選択を迫られる皆さんには、ぜひ視野を広げてほしいと思います。就職活動では、知らない企業は受けることすらできないと考え、大手に限定せず全国のさまざまな企業を調べました。商品開発の仕事でも、実際に調べてみないと分からないことが多く、どんな場面でも、思い込みにとらわれず視野を広げておくことが大切だと感じています。

大学選びや就職活動など、進路を考える機会はいくつもあります。その際、広い視野を持つことを忘れてほしいと思います。

会社で開発と総務という全く畑違いの仕事をしてきましたが、さまざまな分野を知り体験することで意外な自分を発見できる面白さを実感しています。



入社後の仕事を教えてください

入社後6年間、商品開発部門で大手の食品メーカーなどのクライアントの細かな要望に対応し、パンや菓子、ラーメン、カレーなどに使う油の開発に従事しました。自分の関わった商品がコンビニに並んでいるのを見て「縁の下の力持ち」の面白さと誇りを感じられました。2025年春からは総務課に異動し給与や勤怠管理、人事や採用などの仕事をしています。

今後の目標は何ですか？

まずは、会社を支える総務課の一員として、商品開発で培った人脈や商品に関する知識を活かし、社員が働きやすい環境づくりに取り組みたいと考えています。将来は会社の経営を担えるような人材になりたいです。

甲南大学での学びは生かされていますか？

3年生実習では、研究姿勢だけでなく、コミュニケーション力やリーダーシップ、プレゼンテーション力も鍛えられました。これらの経験は、入社後のあらゆる業務で大きな力になっています。

休日の息抜きを教えてください

会社では釣りとテニスのクラブに所属しています。小さい頃に「自分で魚を捌けなければ釣りはやるな」と教えてくれた親のおかげで、魚を扱う技術が身につきました。今ではカレーをルーから、ピザも生地から作り、食べた人からは「お店の味」と褒められることもあります。



EPISODE

03

HISTORY

千葉から神戸へ

私は高校まで千葉で育ちました。理系科目が好きになったのは中学、高校の理科の先生方の楽しい授業のおかげです。特に高校の化学の先生が面白く、化学反応のメカニズムや原理を学ぶうちに化学への興味が膨らんでいきました。父の実家が京都、母の実家は兵庫で関西にもともと親しみがあつたことや、おしゃれなイメージの神戸へのあこがれもあって甲南大学を選びましたが、少人数制で化学が学べることも魅力的でした。入学すると周りに関西人の面白い友達ばかりで大学に通うのが楽しく充実していました。

基礎化学実験が研究の土台に

大学では2年生の時の基礎化学実験の授業が忘れられません。実験器具の扱いから物質の定性分析や定量分析の基礎的技術までを徹底的に叩き込まれました。実験は最初から最後まで一人でやりとげないとはいけません。クラスメイトと相談することはできず、わからなければ先生に聞くしかありません。だから授業中はシーンと静かで、みんなが黙々と実験を続ける緊張感がすごかったです。でもその授業が今に続く研究の土台を作ってくれました。3年生ではグループでの実験が主で、みんな

建築塗料のトップ企業で「街を彩る」

大きな仕事ができる充実感

エスケー化研株式会社

松本 和虹さん WAKO MATSUMOTO
エスケー化研株式会社 第1技術研究所
自然科学研究科 化学専攻 2023年3月修了
理工学部 機能分子化学科 2021年3月卒業

FUTURE

なで役割分担してわいわいとディスカッションしながらレポートをまとめる日々は「青春」という感じでした。

4年生で有機化学の中でも超分子化学の研究室に所属し、分子と分子の間に働く不思議な相互作用でできる超分子ポリマーの研究を大学院まで続けました。私たちの学年はコロナ禍で4年生の時には十分な研究ができず、もっと気の済むまで研究したいという思いで大学院に進みました。大学院では発光性の物質を組み込んだ超分子ポリマーが研究テーマでしたが、研究室にこもって何度も何度も合成を繰り返す「ものづくり」が大変でした。一方で、できたものの物性を評価する段階で予想外の結果が出ることもあり、その「なぜ？」を考えるのは楽しい時間でした。就活でエスケー化研を志望したのは、建築塗料の分野で色に関わるスケールの大きな仕事がしたいと思ったからです。

自分の可能性を広げよう

高校生や後輩のみなさんには、受験や就職をゴールと考えないでほしいです。進学し就職した先でいろいろなことに情熱を持ってチャレンジし、自分の可能性を広げることが大事です。私の場合は興味を持った化学が自分の世界を広げてくれました。大学で粘り強く取り組んだ研究の経験が、今の仕事に役立っていると実感しています。



入社後の仕事を教えてください

会社の研究所の연구원として商業施設などに使うさまざまな色のパリエーションの研究開発をしています。化学と芸術の融合の世界です。既存製品のコストダウンもテーマです。大学での研究との違いは、クライアントへの納期があるためスピードと精度が求められることです。研究所を出て工場や塗装の現場にも行つて、最後まで責任を持って調整を続けます。

今後の目標は何ですか？

建築塗料は最も人の目に触れるものです。学んできた化学の力で「街を彩る」ことに貢献していきたいです。他社がまねできない塗料を開発して、特許

も取り会社の財産にしたいです。

甲南大学での学びは活かされていますか？

開発中は試行錯誤の連続で、実際に試作した塗料を何十回も自分で塗ってみます。仮説を立てては検証することの繰り返しです。大学の研究室でやっていた、何回も合成を粘り強く繰り返したことの経験が活かしています。

休日の息抜きを教えてください

最近フラワーアレンジメントを習い始めました。私の名前には「虹」が入っていることもあって色に興味があります。仕事も色に関わるので、いずれ役に立つかもしれませんね。



EPISODE 04

HISTORY

将来見据え学部を変更

生物が好きでした。人体の不思議さや人間の進化などに小学生の頃から興味がありました。高校でも生物は得意で、突出して成績がよかったですね。

初めは生物が学べる大学の受験を考えましたが、卒業後の仕事のイメージがあまりわかりませんでした。パソコンを扱うのも好きだったので、情報系をゼロから学ぼうと切り替えて選んだのが、生物学志望の時も候補だった甲南大学です。広島生まれ育ちで、一度は県外に出たいと思っていて、神戸に興味があったのも理由です。

インド留学で気付けた新しい価値観

大学では、広島東洋カープファンのSNS投稿のデータを使い、面白い情報を抽出したり、ファンの「熱量」を分類したりする研究をしました。投稿の熱量の高さやフォロワー数などからデータを作って、コンピューターに機械学習させ、分析させました。面白い投稿を集め、当時多かった「にわかファン」に、より熱意を持ってもらうのが目標でした。例えば「チームの2人の選手は同じ病院で同じ日に生まれた」など、コアなファンしか知らないような情報を高い確率で集めることができました。僕自身がカープファンというのもありましたが、機械学習でどんなことができるのかを知るための研究でした。

道は途中で変えてもいい

立ち止まらず

前を向いて進もう

マツダ株式会社

中川 竜助さん RYUSUKE NAKAGAWA
マツダ株式会社 MAXプロジェクト室
知能情報学部 知能情報学科 2020年3月卒業

FUTURE

また、他の人が経験していないことをしなくて、3年生の夏休みを使い3カ月、インドのITスクールに留学しました。アンドロイドのアプリ開発技術だけでなく、現地の人や文化に触れ、当たり前と思っていた価値観が当たり前ではないと気付けたことが大きな学びでした。

大学進学前から将来は広島で働くつもりで、就活を頑張りました。地元のマツダを志望したのは、祖父やおじもかつて勤め、小さい頃から社員がかってよく見えたからです。広島県が地元企業を集めるUターン支援の催しに1年生の頃から参加し、会社訪問もしました。

2020年春に入社し、最初の配属は希望通りのIT本部。今は、AIを使って社内の業務改革を進めるため25年9月に新設されたMAXプロジェクト室で働いています。

その時選んだ道に全力を

僕は生物が好きでしたが、キャリアを考えて大学は情報系学部を選びました。今の会社の部署には文系出身も含めて多様なメンバーがいます。将来を考えて好きなことを選ばなかった自分の選択が正解だったかは分かりませんが、間違いとも思いません。学部の選択で人生が決まるわけではないし、自分の直感を信じて選んだ道に全力を注ぎ、新しくやりたいことが見つかったら軌道修正すればいい。受験生にはあまり悩まず、立ち止まらず、前向きに進んでほしいと思います。



どんな仕事をしていますか？

汎用の生成AIツールを使って会社の業務を効率化させる活用策の立案や、社員がAIを業務に使えるような支援をしています。使い方のデモを見せて実際に体験してもらい、社内チャネルで質問に回答してもらいます。初対面の人とコミュニケーションを取る機会が多いのですが、臆せず留学などに挑戦した経験が活かしています。オンラインよりも、リアルに顔を合わせることを大事にしています。

やりがいを感じるの？

ウェブ会議の内容をリアルタイムに文字起こしするだけでなく、要約もするAIの機能を使ったら、聴覚障害のある人から「今までは字幕を追うのに

必死だった。すごく助かる」と感謝の声をいただきました。人の支援につながり、実際に喜ぶ人の声を聞くと、やりがいを感じます。

今後のキャリアについて

AIは本格的に始めたばかりですが、面白く、可能性を感じます。もっと勉強してスペシャリストになり、会社の事務的作業を極力AIに置き換え、人がポテンシャルを最大限発揮できる環境を提供したいです。

休日はどう過ごしますか？

幼い長女と長男に癒やされています。妻とは大学時代にバイト先で知り合いました。甲南大学を選ばなかったらこの家族がないと思うと恐ろしいです。



EPISODE

05

HISTORY

化石から出たDNAにワクワク

子どもの頃からエジプトの考古学など古いものが好きでした。小学生の時に岡山県の施設で巻き貝の化石の発掘体験を楽しんだ思い出があります。中学でも理科の図録の化石に夢中になり、微生物の化石から「生命の設計図」と言われるDNA（デオキシリボ核酸）が見つかったという記述を読んでワクワクしました。高校で遺伝子やDNAを学ぶうち、その方向の研究へ進みたいと思うようになりました。受験前年にできた甲南大学フロンティアサイエンス学部は最先端のDNAや遺伝子工学が学べると聞き、行きたいと思いました。幸い高校に指定校推薦の枠があり、推薦もいただいて合格できました。

実験に夢中の学生時代から社会へ

3年生後半から大学院にかけては三好大輔先生の研究室でDNAの研究をしました。そこで、DNAは二重らせんだけでなく、四重らせん構造も形成すると知って驚き、関心を持ちました。生物学的素材から目標の物質を検出する「バイオセンサー」へ応用できないかと考え、二重らせんや四重らせんを形成したDNAが別のものと組み合わせた時にどう挙動するかを実験で確かめていました。

友人と遊ぶなどの楽しみはありましたが、それよりも実験でしたね。研究室で実験しては全

実験に魅せられ、求めた研究開発職

学んだのは社会で生きる

知識や考え方

千寿製薬株式会社

上田 侑美さん YUUMI UEDA

千寿製薬株式会社 一般薬品事業部 研究開発グループ

フロンティアサイエンス研究科修士課程 生命化学専攻 2016年3月修了

フロンティアサイエンス学部 生命化学科 2014年3月卒業

FUTURE

全国各地に出かけて学会発表の繰り返しでした。帰る時間が惜しくて、研究室に泊まり込んだこともあります。自分で取り組んだ成果が目に見える点が実験の楽しさです。

ただ、研究をそのまま仕事にするのは難しく、就活では生物か化学系の研究開発の職種を探しました。内定をいただいた2社のうちの1社に就職しましたが、希望部門へ進むのが厳しいと分かり、転職を決めました。今の会社には派遣社員として入り、約1年後の18年春から正社員として働いています。目薬を作るためにさまざまな実験をしたり、薬事申請のための資料を作ったりしています。

基礎知識の大切さを知る

学部では1年生から、生命科学を学ぶための必修の序論4科目がありました。そこで生物や化学などの基礎を学べたことに、むしろ社会人になってありがたみを感じています。研究開発の仕事は幅が広く、基礎知識があれば調べる方向性も定まって効率が良くなるからです。また、学会発表を重ねたおかげで、データを基に考えて結論付けたことを説明する技術が身につく、社内でプレゼンする際はほめてもらえることが多いです。三好先生には論文の書き方も教えていただき、文章を書く仕事にも活かしています。学部では知識面、大学院では経験や考え方が身につく、今に役立っていると感じます。



現在はどんな仕事？

一般薬品事業部で市販用の目薬を作っています。自分で計画を立てた実験でデータを出し、分析する仕事です。最近では薬事も担当しています。医薬品の製造販売を承認してもらうため、品質・有効性・安全性を担保するデータをまとめ、政府機関に提出する申請資料を作ります。製品開発という社の中核の仕事に関われたようで楽しいです。2、3年以内には自信を持って自分が申請したと言えるように独り立ちしたいです。

仕事のやりがいは何ですか？

私はずっと受け身で、自分の意見を言うタイプではなかったのですが、薬事の仕事が始めてから、積極的に意

見を言うようになりました。文献などで根拠を調べた上で意見を言い、相手に納得してもらえると、よかったなと思います。また、自分が関わった目薬がお店に出るのはうれしいし、使っている人を見るともっとうれしいですね。

休日は何をしていますか？

楽器の練習です。元社員を含む社員のバンドで、中学時代から続けるクラリネットを吹いています。年1回のライブイベントに参加します。

紅茶にもはまり、自分でうまく入れるべく勉強しました。実技研修のある日本紅茶協会のティーアドバイザーの資格と、紅茶検定の上級までを取りました。家族で楽しんでます。



理系卒業生が語る ― 軌跡とその先のストーリー

CHRONICLE

クロニクル

甲南大学を選んだ先輩たちは、どんな未来を生きている？
理系分野で活躍する卒業生が「これまで」と「これから」の歩みを
自分史（クロニクル）として語りました。



理工学部 / 知能情報学部

岡本キャンパス

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1 理工学部・知能情報学部事務室
[TEL] 078-435-2468 (直通) [FAX] 078-435-2539 [E-mail] rikou@adm.konan-u.ac.jp

フロンティアサイエンス学部

ポートアイランド
キャンパス

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-20 ポートアイランドキャンパス事務室
[TEL] 078-303-1457 (直通) [FAX] 078-303-1495 [E-mail] first@adm.konan-u.ac.jp

甲南大学の進化型理系が分かる



甲南大学の理系が進化する
進化型理系構想 特設サイト

甲南大学の理系を探求する



高校生向け
理系3学部 特設サイト

入試やキャンパス情報などの情報が満載!



受験生向け情報サイト
甲南 Ch.